

行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	研究開発推進体制の整備	事業開始年度	平成4年	作成責任者		
担当部署	情報通信国際戦略局	担当課室	技術政策課	課長 竹内 芳明		
会計区分	一般会計	上位政策	情報通信技術研究開発推進費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第75条	関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)、国の研究開発評価に関する大綱的指針(平成20年10月内閣総理大臣決定)等			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	高度なネットワーク社会の構築に欠かせない情報通信基盤の技術的向上及び持続的発展を目的とし、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出やその実行にあたっての政策評価の実施等により、効率的・効果的に研究開発を推進する体制を整備する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)外部専門家及び産学官各界からの意見等を踏まえ、今後緊急かつ重点的に推進すべき新規研究テーマにおける課題の抽出及びその研究テーマの推進方策について調査・検討を行う。 (2)法等に基づく政策評価を、外部専門家等による研究開発評価により適切に実施する。併せて、過年度終了研究開発に関する追跡調査の実施及び研究開発成果の公表・展開を図るための成果発表会を行う。					
実施状況	(1)委員会等の基礎資料とするため、情報通信分野の研究開発に関する投資効果や波及効果について調査を実施。 (2)今後緊急かつ重点的に推進すべき新規研究テーマにおける課題の抽出及びその研究テーマの推進方策について検討を行うために外部有識者(20名程度)による会合を12回実施。 (3)研究開発に係る評価において、外部有識者・外部専門家(9名)による外部評価を7回実施。 (4)研究開発成果の公表・展開を図るための成果発表会を1回実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	26	23	27	20	20
	執行額	23	16	16		
	執行率	88%	70%	59%		
	総事業費(執行ベース)	23	16	16		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	・調査研究については、中間報告を求めることにより、調査内容に関する指摘・助言等を行い、内容の更なる充実を図った。				
	見直しの 余地	・調査研究については、総合評価落札方式を採用し、調査能力を多面的に勘案して、受託者を選定する。 ・外部専門家等による研究開発評価をより幅広い視点で実施するために、評価委員の拡充など、評価体制の見直しを行う。 ・研究開発終了後の追跡調査を強化し、研究開発成果の活用状況の点検や 施策の必要性、有効性等の検証を行う。				
予算執行の 監視・ 効率 見率	現行または見直し案どおり					
補記						

総務省
16百万

情報通信基盤の技術的向上及び持続的発展を目的とし、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出や政策評価の実施等により、効率的・効果的に研究開発を推進する体制を整備する。

【諸謝金、委員等旅費】

A. 情報通信技術の研究開発の評価に関する会合等
3百万

外部有識者等による会合により、重点的に推進すべき新規研究開発課題の抽出及びその推進方策の検討を実施。

【一般競争入札】
応札数: 5社

B. 有人宇宙システム(株)
5百万

終了した研究開発に関する追跡調査の実施し、報告書を作成。

【一般競争入札】
応札数: 2社

C. 野村総合研究所(株)
5百万

研究開発の投資効果について調査を実施し、報告書を作成。

【一般競争入札】
応札数: 3社

D. ビジア(株)
3百万

研究開発成果の展開を図るための成果発表会の運営事務等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議開催経費(謝金、委員旅費)	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助員	5			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助員	5			
計		5	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議開催経費(会場設営)	2			
人件費	作業員	1			
計		3	計		0

研究開発推進体制の整備

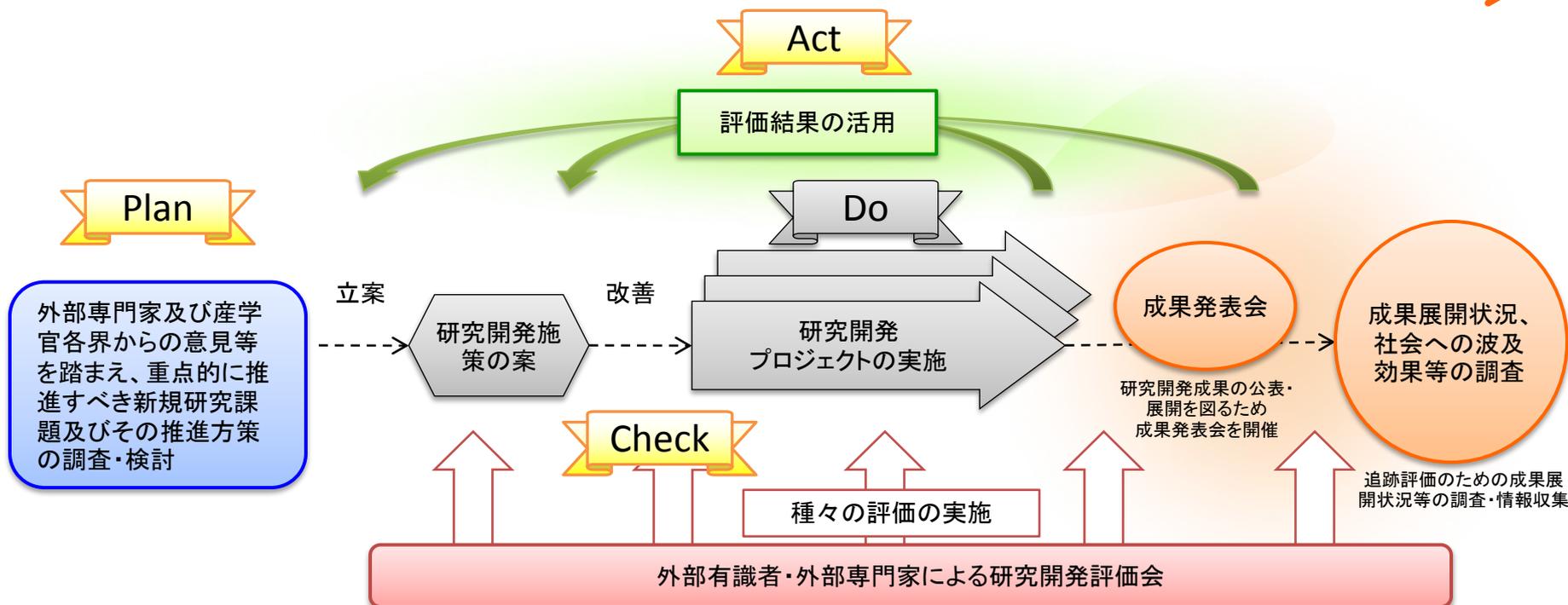
高度なネットワーク社会の構築に欠かせない情報通信基盤の技術的向上及び持続的発展を目的とし、重点的に推進すべき研究開発課題の抽出やその実行にあたっての政策評価の実施等により、効率的・効果的に研究開発を推進する体制を整備する。

研究開発プロジェクトのフェーズ

企画・立案

実行

成果展開



① 事前評価

新規研究開発事業の概算要求に際して政策的必要性を評価

② 基本計画に関する評価

新規研究開発事業の公募のために総務省が示す技術課題や達成目標等について評価

③ 採択評価

公募への提案者の中から委託先を選定するための評価

④ 継続(中間)評価

研究開発事業(通常は3~5年間実施)の進捗状況をチェックし、継続するか否かを判断するための評価

⑤ 終了評価

研究開発事業終了後、目標の達成度や得られた成果を評価

⑥ 追跡評価

研究開発事業終了から一定期間経過後、成果の活用状況を把握するための評価